

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	交流・環境	26年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 総合開発室 総合開発課長	
施策名	うるおいと魅力のある港湾空間の形成	成果	コスト				
事務事業名	ガーデンふ頭再開発の推進	延伸	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7971	
目的	対象(誰・何を)	ガーデンふ頭				事業 期間	平成22~30年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	多くの人が賑わう場として充実させます。					
概要	「築地ポートタウン計画」に基づいて、にぎわいの創出を図るため、平成26年度に東地区を対象に公募を実施しましたが、事業予定者の決定には至らなかったことから、埠頭全体を対象に整備手法・整備主体を含めた検討を進め、再開発を推進します。				根拠 法令等		
27年度の実施予定	既存施設(4号倉庫、20号倉庫)の撤去を行うとともに、平成26年度に実施した東地区を対象とした公募の辞退理由等の精査を行います。その結果を踏まえ、ガーデンふ頭再開発に関する課題の整理を行い、必要な機能の整理を行います。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
					関連 シート		

2 DO(実施)

27年度に実施した 内容・結果	平成26年度に実施した公募の結果を整理し、庁内関係者によるワーキング等により、整備手法・整備主体を含めた課題の整理を行いました。					
コスト	単位	25年度	26年度	27年度	合計(22年度~)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	3,077	3,132	0	12,943	
人件費	千円	21,112	26,427	24,616	134,374	
合計	千円	24,189	29,559	24,616	147,317	

3 CHECK(検証)

指標名		25年度	26年度	27年度	最終目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
ガーデンふ頭における賑わいの創出に向けた検討の進捗状況(全5工程) (進行管理型)	目標			1		5(累計)	以下の項目のうち完了した工程数を合計します。 ①課題の整理②必要な機能の整理③再配置計画の策定④整備手法・整備主体の検討⑤事業化の検討		
	実績			1					
	事業進捗状況(27年度)			順調 やや遅れ・遅れ					
	目標								
	実績								
事業進捗状況(27年度)									
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	平成26年度に実施した公募の結果を整理し、庁内関係者によるワーキング等により、整備手法・整備主体を含めた課題の整理を行うことができました。								
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明							
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か? 事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>	ガーデンふ頭は親しまれる港の拠点として、にぎわいの創出を図る必要があります。 ガーデンふ頭の再開発は、市民からのニーズが高く、実施していく必要があります。						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか? 期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>	ガーデンふ頭においてにぎわいを創出することで、「うるおいと魅力ある港湾空間の形成」に貢献することができると考えております。 ガーデンふ頭におけるにぎわいの創出に向けた課題の整理ができました。						
効率性	最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/>	ガーデンふ頭の再開発は、効率的な開発・管理運営となるように検討してまいります。						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	28年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	拡大	拡大	様々な要望がある中で、ガーデンふ頭は親しまれる港づくりの拠点として、にぎわいの創出を早急に図る必要があるため。 【重点化】
	資源(財・人)の投入を拡大し、取組を強化することによって、成果をあげる必要がある。		
課題			28年度以降の取組
効率的な管理運営となるように民間事業者による事業化方策を検討し、早期にガーデンふ頭における更なる賑わいの創出を図る必要があります。			民間事業者へのヒアリングを行うとともに、広域的視点や近隣の開発動向等を踏まえた需要予測や必要な機能の方向性、また、交通課題の検討を行い、ガーデンふ頭全体の機能の配置案を取りまとめ、県民・市民に親しまれる港の拠点として、更なる賑わいの創出が早期に実現できるように、事業化に向けて検討を進めていきます。当面は、東地区の暫定利用を進めていきます。